

DRF/Share地域ワークショップ(九州地区)
平成22年12月22日



単独IRのススメ

Kyutacar構築事例



国立大学法人九州工業大学
附属図書館情報管理係 徳安 由希



本日の内容

- * 本学の紹介
- * 現在までの歩み
 1. 公開するまで
 2. 公開してから
 3. 現在
- * これまでとこれから



本学の規模

✳️ 工科系の単科大学(2学部・3研究科)

✳️ 学生数 6,063人 (H22.5.1現在)

(学部生4,363人、大学院生1,700人)

✳️ 教育職員数(専任) 370人 (H22.5.1現在)



“キューテイカー”

Kyutacar

*九州工業大学学術機関リポジトリ

Kyushu Institute of Technology Academic Repository

<http://ds.lib.kyutech.ac.jp/dspace/>

導入システム	DSpace 1.4.2
ソフトウェア導入	H19.2.5
導入業者	ソラン
試験公開日	H19.12.7
一般公開日	H20.3.3



現在までの歩み

1. 公開するまで

- ❖ H18年度 リポジトリ設置が学内で了承
- ❖ H19年度 CSI委託事業採択 **構築準備**

2. 公開してから

- ❖ H20～21年度 CSI委託事業採択 **土台形成**

3. 現在

- ❖ H22年度～ 自己資金のみで運用 **自力運用**

計画スタートから5年、今日までを振り返る。

1. 公開するまで (H18-19年度) 構築準備

学内の合意形成
WGの設置
学内制度の整備
広報活動
初期コンテンツ





学内の合意形成 H18.9

H18年度

*4月 CSI委託事業公募の通知

🕯️ 主体は図書館 or 研究協力課？

*5月 CSI委託事業に図書館から応募

🕯️ 館長から指示

*7月 不採択

トッフダウン

*9月 自己資金でリポジトリ構築が了承



WGの設置 H18.10

*運営ワーキンググループ

(構成) 図書館職員

(業務) リポジトリの運用に係ること全般協議

*システム構築ワーキンググループ

(構成) 図書館職員＋学内のシステム部署職員・教員

(業務) システムの選定、設定



学内制度の整備 H19.6.12

*「九州工業大学学術機関リポジトリ運用要項」

http://www.lib.kyutech.ac.jp/kyutacar/download/kyutacar_guideline.pdf

**登録資格者

**登録対象

**著作権

**登録手続 など

九州工業大学学術機関リポジトリ運用要項

平成19年6月12日
附属図書館運営委員会決定

(趣旨)

第1条 この要項は、九州工業大学（以下「本学」という。）において実施する九州工業大学学術機関リポジトリ（以下「リポジトリ」という。）の運用に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要項において「リポジトリ」とは、本学の教育・研究成果を社会に還元し、もって学術研究及び社会に貢献することを目的として、本学の教育研究活動において生産された学術情報等（以下「学術情報等」という。）を電子的に収集、蓄積及び保存し、ネットワークを通じて学内外に無償で発信、提供するシステムをいう。

(登録資格者)

第3条 リポジトリに学術情報等を登録できる者（以下「登録資格者」という。）は、次のとおりとする。

- (1) 本学に在籍する職員（役員を含む。）及び大学院生
- (2) 前号に準ずる者として附属図書館長が特に認めた者



広報活動

* 各部局担当者へ教員・学生へのリポジトリの周知を依頼

** 研究協力課・大学院係

* 教員を対象として説明会の開催

** 教授会の前後に時間をもらう

* リポジトリインフォメーションHPの開設

** リポジトリの説明、Q&A、許諾書ダウンロード

* ロゴの作成及びポスターの配布・掲示

** 愛称は関係者から募集





初期コンテンツ

*とにかく学術雑誌論文

**NIIの紀要電子化事業に不参加

**著作権OKの論文を調査→教員へ登録依頼

*博士学位論文、科研費成果報告書

**カレント分の許諾書提出を各部局経由で依頼

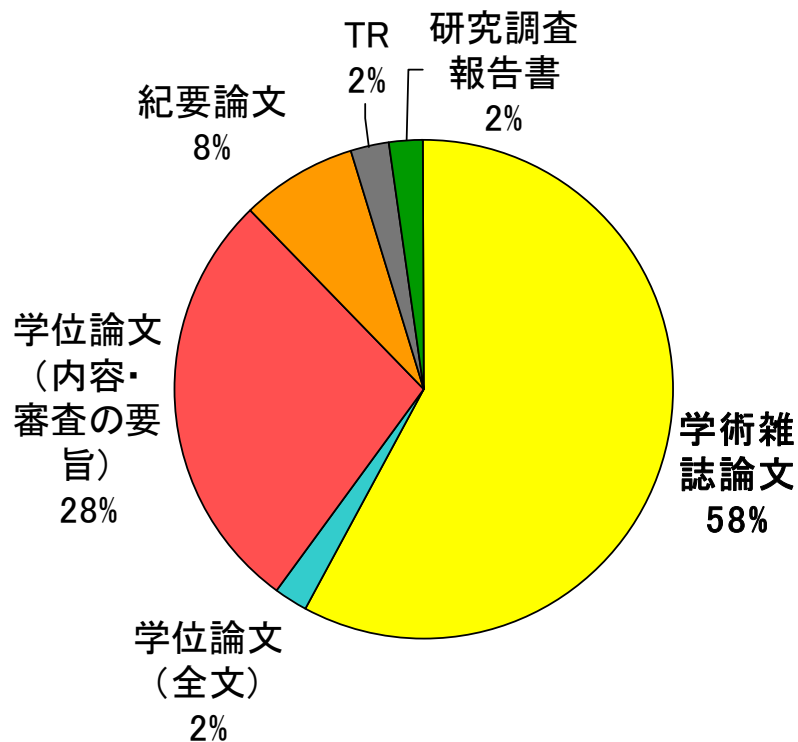
*電子的公開済のテクニカルレポート・紀要

**楽しんで登録♪



正式公開 H20.3.3

＊ようやく正式公開。でも、ここからがスタート。



学術雑誌論文	409
学位論文(全文)	17
学位論文(内容・審査の要旨)	196
紀要論文	54
TR	17
研究調査報告書	16
合計	709件

2. 公開してから (H20-21年度) 土台形成

コンテンツ拡充
システム拡張
業績DBとの連携
体制の見直し





コンテンツ拡充



* やっぱり学術雑誌論文

** 登録依頼メールに先生も慣れてきた

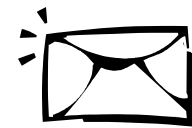
** 業績DBと連携したことで自発的な登録もちらほら



* 遡及登録作業を実施

** 紀要論文～包括的な著作権許諾処理

** 博士学位論文～連絡先調査より個別許諾



* 紀要の投稿要領・申し合わせの改正

** 投稿段階でリポジトリにおける電子的公開を許諾する旨を追記





システム拡張

*リポジトリシステムの拡張: 業者発注

- ** 利用状況統計 (AWStats)
- ** メタデータ一括編集ツール
- ** 高頻度閲覧統計
- ** 紀要専用ページ
- ** コレクション間移動ツール
- ** カバーページ

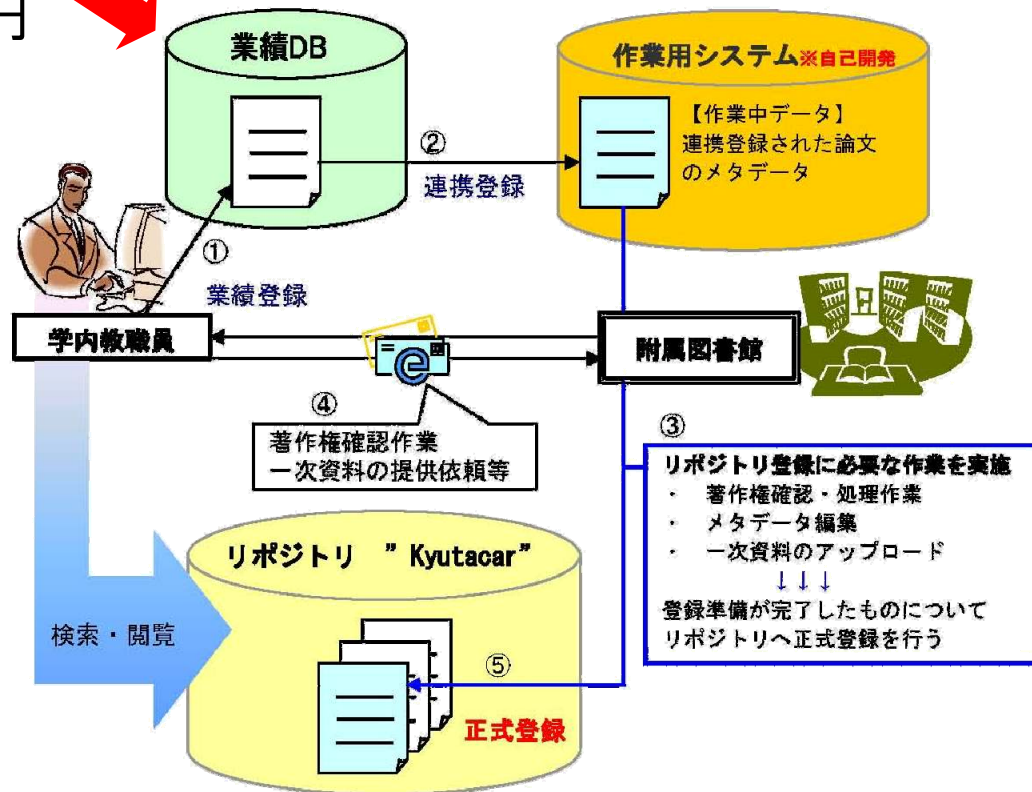
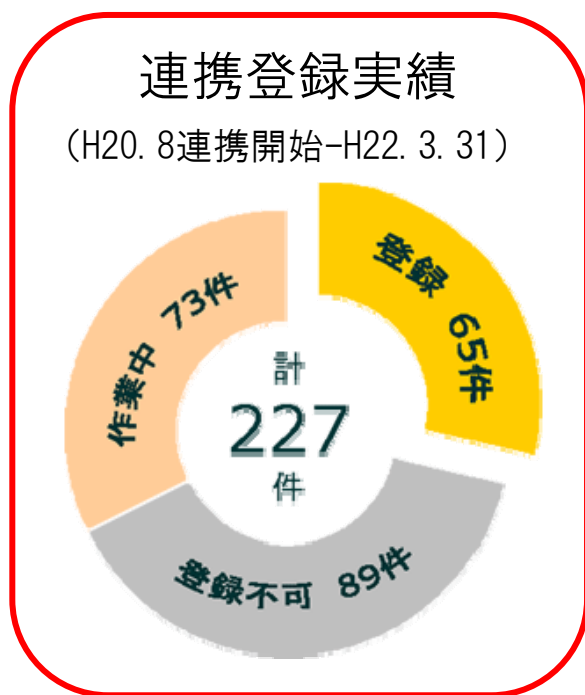


業績DBとの連携 H20.8-

*連携機能拡張:自己開発

**リポジトリへの登録許諾を確認

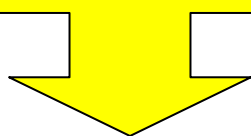
**登録データ流用





体制の見直し H22.2

*運営WG・システムWG 解散



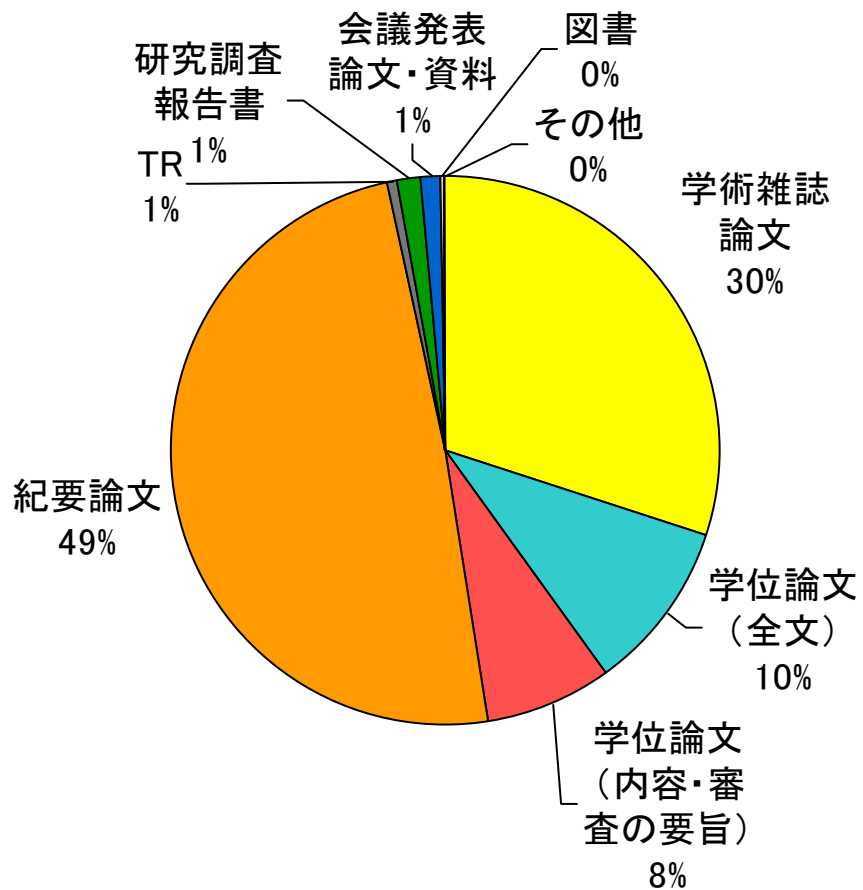
*九州工業大学学術機関リポジトリシステム運用専門部会 **を新たに設置**

(構成) 図書館職員＋学内のシステム部署職員・教員

(業務) システムの管理運用



CSI委託事業終了 H22.3.31



やっと3000件突破！

学術雑誌論文	1020
学位論文(全文)	342
学位論文(内容・審査の要旨)	259
紀要論文	1674
TR	21
研究調査報告書	46
会議発表論文・資料	44
図書	1
その他	4
合計	3411件

3. 現在

(H22年度～) 自力運用

予算状況の変遷
運用体制の変化
現状





予算 H18-19年度初期構築費

H18年度～システム導入

* 導入費（自己資金）

※ リポジトリ構築のため学内より予算（運営戦略）を獲得

🕯️ DSpaceサーバ構築

🕯️ その他

- ◇ 作業用PC, ノートPC
- ◇ 周辺機器（スキャナ, HDD等）
- ◇ 関係ソフトウェア
- ◇ 調査費（旅費）
- ◇ 翻訳（許諾書等）

H19年度～構築準備

* 初期費（CSI）

🕯️ 派遣職員1名雇用

* 不足分 図書館運営費から充当

🕯️ ハンドルシステム契約

🕯️ システム保守費

🕯️ 旅費



予算

H20-21年度CSI委託事業



H20年度

* 維持・運用(自己資金+CSI)

- 派遣職員一名雇用
- アルバイト雇用
- 著作権処理外注
- 紀要の電子化

* 不足分 図書館運営費から充当

- システム拡張・保守
- 旅費

H21年度

* 維持・運用(自己資金+CSI)

- 派遣職員一名雇用
- 学位論文の電子化
- 著作権処理外注
- システム拡張・保守
- グッズ(クリアファイル)作成
- 旅費



予算 H22年度←今はココ

＊H22年度 100%自己資金

＊維持・運用（自己資金）

＊＊CSI委託事業終了に伴い自己資金費のみで運用

📄 資料の電子化（年数冊）

📄 旅費

📄 システム保守費

＊＋α（自己資金）

＊＊自己開発の作業用システムを別途外注

＊＊リポジトリを仮想環境に移行



運用体制 H19-21年度



✳️担当者1名(兼任) + ✳️派遣職員1名

- ✳️ 広報
- ✳️ 計画立案
- ✳️ システム運用
- ✳️ 遡及電子化作業
- ✳️ CSI事業関係



✳️ コンテンツ
収集・登録

- ✳️ 著作権処理作業
- ✳️ 著作権情報整備
- ✳️ 登録情報整備

I can speak English!



CSI委託費



運用体制 H22年度←今はココ

*担当者1名(兼任→より専任へ)

- * 広報
- * 計画立案
- * システム運用
- * コンテンツ収集・登録
- * 著作権処理作業
- * 著作権情報整備
- * 登録情報整備



もちろん
協力は仰い
でいます

とまあ全部ってこと



何とかやっています



* 予算はあまりないけれど...

- ** エラーがなければ保守費だけでOKかも。
- ** DRF-wikiやMLの情報、いざとなれば自力でもできるかも。
- ** 幸か不幸か電子化する材料もない(--)

* 担当者は少ないけれど...

- ** ノウハウは蓄積しているし、どうにかやれる。
- ** 分からない時はML・他大学に聞こう！
- ** とにかくコツコツ。増えることはあっても減ることはない。

これまでとこれから

小規模の良さ
単独IRの良さ
まとめ





小規模だからこそ😊



*先生と距離が近い

**協力してくれるかもと思ったらアタック！

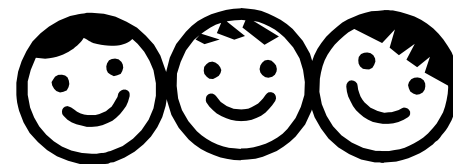
*丁寧な作業

**登録前のデータ確認

**著作権規程の調査と問い合わせ

*連携がとりやすい

**他部署との協力、図書館内での協力





単独IRだからこそ😊

* 自分の大学の方針に即した運用

❄️ 中期計画でリポジトリ言及

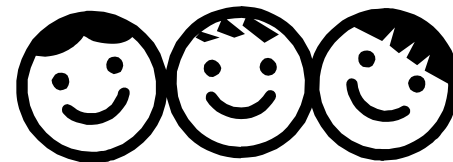
* マイ・リポジトリ

❄️ 自学のペースで取り組める

❄️ カスタマイズはご自由に

* 弱小体制でもやればできる

❄️ ひたすら先行事例を参考





これまで

* 苦労もたくさん

- ** 知らない・分からない・できない
- ** コンテンツが中々集まらない

* 得ることもたくさん

- ** 教員とのつながり
- ** 他図書館業務とのつながり
- ** 全国各地でのつながり



これから



*新たな可能性

** まだまだやれていないことはたくさん

*より効率的に

** 許諾方法、システム等見直しする時期

*更なるつながり

** 助けてもらったことをお返しする側に



ご清聴ありがとうございました

九州工業大学附属図書館リポジトリ担当
kyutacar@jimu.kyutech.ac.jp

